

# 第8回大雪山忠別湖トライアスロンinひがしかわ 夏走る、旭岳の山麓で快汗レース

8月3日、大雪山旭岳山麓の忠別湖周辺を会場に、第8回大雪山忠別湖トライアスロンinひがしかわ大会が開かれました。日中30・8度(午後3時)まで上がった真夏の好天に恵まれ、約350人が緑濃い湖畔で熱戦を展開しました。レース終了後、ゴール地点の散策広場では参加選手が焼き肉、ジンギスカン料理に舌鼓を打ちながら交流の輪を広げました。(大会成績は24ページ)

午前10時、31人が出場したジュニアの部に続いて、メインレースの一般の部がスタートしました。エントリは、国体予選会、日本選手権予選会、学生選手権予選会合わせて男女392人、リレー7チーム(高校1人含む)。号砲に合わせて一斉に湖面目掛けて飛び込みました。

スタート時の天候は晴れ、気温セ氏27・5度、水温プラス22度。湖面に南西の微風がわたるさわやかなレースになりました。

昨年に引き続き2連覇目指した久保整一輝さん(24)



女子6連覇優勝の沢田愛里選手(スイムからハイク種目に移動)JR北海道

保整一輝さん(24)(鶴川スウェット)、カナダ帰国前の最後の出場で2年ぶり優勝を狙ったブライアン・パークハウスさん(44)の2人に注目が集まりましたが、総合優勝したのはその2人を4分19秒上回る大会新記録、1時間59秒56の遠藤樹(たつき)選手(24)トヨタ車体。女性の部は、連続8回出場の沢田愛里選手(34)JR北海道が6連覇しました。

## 大会初の優勝、遠藤選手

初出場で初優勝したのは札幌出身の遠藤樹選手(24)。前の週、アジア杯天草国際トライアスロン大会に出場し、エリートカテゴリー4位入賞を引っつけての出場。

尚志学園高校(札幌)では、中学時代から続けた水泳競技一筋でした。現在はトライアスロン競技の国内強化B指定選手。

今年1月、右足首のじん帯を痛め



初出場、初優勝した遠藤さん(トヨタ車体)

てまだガクガクする。でも最初から逃げないように、ということだけを考えた走った」と結果に自信を深めたよう。

## 2連覇惜しくも逃した久保整一輝さん

2連覇を目指しながら3位にとどまったのは、昨年の覇者、久保整一輝さん。お互いに高め合ってきたブライアンさんと、ゴール後に手を握り合って健闘を讃え合いました。

胆振東部消防組合署員となつて1年目。「まずはしっかりと仕事をできるように」と今年は仕事優先で練習を続けてきたそうです。来年こそは、とりべ



最高齢の記念ラン、須田健司さん

最高齢、70歳で完走した須田さん  
「今年70歳になったので最後のチャンスと出陣した」という須田健司さん、「完走後に初めて涙が出た」と感慨ひとしお。  
10年前、道南の鹿部町に移り住み、その後6年間トライアスロン大会で運営ボランティアとして縁の下の働きを続けてきました。  
「初めて出場できた。練習で落車して、1カ月半泳ぐ練習をできなかった

ので、途中両足の筋肉がピクピクして」とレースを振り返り「完走できてよかった」。

## 20年ぶりのレース、美瑛から初出場の池辺さん親子

初参加の池辺晴彦さん(50)、刀那君(13)美瑛中2年IIの親子は、1週間前に開かれたミニバイアスロン競技東川大会に続いての出場。お父さんは50代一般の部で5位、刀那君はジュニア中学生の部で2位の成績。

晴彦さんは1993(平成3)年のトライアスロンW杯セントトーマス島大会に日本代表で出場した経験の持ち主。この大会は20年ぶりの現役復帰(?)です。

「ウエットスーツが20年前のものだったので伸びなくて呼吸できなかつた。やってみると3種目はきつい」と苦笑い。

刀那君は、冬のクロスカントリースキーのため体力づくりが主な目的。「自転車練習をしていたんだけど、水泳とランの練習をナメ過ぎてた。来年はリベンジしなくっちゃ」。

## 青野3兄弟、ジュニアの部で今年も兄弟制覇

上富良野町の青野3兄弟が今年もジュニアの部でそろってトップ独占!長男の垂斗夢(あとむ)君(14)と



青野3兄弟今年も強い(左端は池辺刀那君。合宿仲間の5人は友達)

写真右、上富良野中2年IIは連続7回出場で、中学生の部優勝。二男の叶夢(かなむ)君(12)写真右から2人目、上富良野小6年IIは小学校高学年の部優勝、三男の挑夢(いどむ)君(10)写真中央、同4年IIは高学年の部2位。

中学生の部2位に入賞した池辺刀那君(写真左)、初出場の小堀敢太君(14)写真左から2人目、札幌養寒中2年IIと一緒に、冬期はクロスカントリースキー、夏はトライアスロン競技に挑んでいる合宿仲間の友達同士。5人でトライアスロン合宿をして鍛えあっているそうです。

## 愛娘の声援を受けて今年も大健闘、町内から出場の中村さん

愛娘の小雪ちゃん(5つ)と親友の



東川町から一般の部に出場した中村舞さん(長女、小雪ちゃん=右、なかよしの中田うたちゃんと)

中田うたちゃん(5つ)2人の声援を受けて、お母さんの中村舞さん(32)は今年も大健闘。  
町内からただ一人の出場。「夫が仕事で出られなくなつて」と今年は一人で出場、一般女性の部6位に入賞しました。  
「今日は暑かつた。年々遅くなるなあ。スイムでコース取りが悪くて途中で困まれて動けなくなつてしまった。それで途中で少し休んでしまつて」と反省しきり。



初出場でリレーの部2位の留萌緑丘小父母の会

スイム担当は自衛官、田代清洋さん(44)。去年は個人で出場しています。バイク担当は消防士の鈴木雄二さん(42)。最後にランを担当したのは小学校支援員の吉田彰美さん(37)。「初参加で2位だよ。やったー!」。リーダー役の吉田さん、大満足。

## 留萌からにぎやか応援、留萌緑丘小父母の会

留萌市立緑丘小5年生の父母がリレー種目に初出場。家族そろってのにぎやか応援をしました。

◇コース(忠別湖と湖畔の一般町道を周回する特設コース)  
▼ジュニア ①スイムII忠別湖畔(親水広場)50歳(1、2年)、100歳(高学年、中学生) ②バイクII親水広場周辺の町道2歳(1、2年生)、同4・7歳(高学年)、同6歳(中学生) ③ランII500歳(低学年)、千歳(高学年)、2千歳(中学生)  
▼一般コース ①スイムI・5歳(1周0・75歳)2周回 ②バイク40歳(町道折り返し3周回) ③ラン10歳(町道折り返し3・5周回)